

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス カラットプラス		
○保護者評価実施期間	R 7 年 2 月 3 日	～	R 7 年 2 月 2 0 日
○保護者評価有効回答数	(放課後等デイサービス)	対象者数： 23名	回答者数： 22名
○従業者評価実施期間	R 7 年 2 月 3 日	～	R 7 年 2 月 2 0 日
○従業者評価有効回答数	(放課後等デイサービス)	対象者数： 5名	回答者数： 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R 7 年 2 月 2 6 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・プログラム内容の充実	・発達障害児の特性に合わせて開発されたプログラミング教材「すてむぼっくす」を使用し、ものづくりを通して「問題解決能力」「表現力」「創造力」を培えるレッスンとなっている。 ・ディスカッションやVRを使った学習を通して、「色々な場面での望ましい振る舞い方」「相手の立場に立った視点」「感情をコントロールする力」などを養うSSTレッスンとなっている。 ・時計の読み方やお金の数え方、衣食住に関わる生活スキルを、実習やオリジナルのゲームを通して楽しく身に付ける生活レッスンとなっている。 ・「作業学習」「課題制作(裁縫)」「PC」「ビジョントレーニング」などの様々な切り口で、5領域をしっかりとカバーしながら子ども達の「できた!」を育てる活動を行っている。	・各課題の背景となる原理や活用事例について、分かりやすい動画で学習していく。 ・視覚的にプログラミング思考を学ぶカードゲームで反復しながら基礎を固めていく。 ・幅広い年齢に対応するため、校種別のVR教材を計画的に使用していく。 ・クイズやロールプレイ、普段の声掛けなど、色々なアプローチで学びの般化を目指していく。 ・消費学習や健康安全についてのレッスン内容を充実させていく。 ・将来に向け、就業への興味関心を引き出すような書籍の読み聞かせを行っている。 ・作業内容や制作物のバリエーションを増やすことで、より日常生活に生かせる内容にしていく。 ・PCのタイピング課題を通して語彙を増やしていく。
2	・幅広い年齢層の他児との関わり	・異年齢のお友達と一緒に活動することで、コミュニケーションスキルの習得や、日常生活に必要なスキルを真似しながら習得したり、年下のお友達のお世話をしたり、関わり方を学んだりできる環境になっている。	・事業所内だけではなく、他事業所などのお友達とも関わることの出来る活動内容を立案していく。
3	・色々なイベント活動(外出行事・季節行事など)	・長期休みの活動は、お出かけをしたり、季節の行事を行ったりなどのイベント活動となっており、色々なことを体験・体感できる内容となっている。	・今後も、子ども達が楽しく積極的に参加してくれる内容を立案していく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様同士の関わり	・保護者会などを開催していないため、保護者様同士が顔を合わせる機会がない。	・ご家族が参加できるイベントや、保護者交流会などを開催し、保護者様同士の相談・情報提供の場を作っていく。
2	・保護者様への「ペアレントトレーニング」や研修などの場の提供	・保護者様からの個別相談に対する助言やアドバイスは行っているが、保護者様を対象とした研修や情報提供の取り組みができていない。	・今後、必要に応じて研修などを立案し提供できれば良いと考えている。
3	・地域との関わり	・イベント活動で地域の店舗利用(お買い物体験)で地域との交流は図れているが、地域イベントやの参加や地域の子供達(児童館など)と交流する機会が提供できていない。	・地域のお祭りや催し物がある際は、活動の日時と合う場合は参加を検討する。 ・児童館などと連携をとりながら、交流できる場を作っていく。 ・地域のボランティア団体などが希望する際は、受入を行っていく。